

## グループホームでの看取り

# 『馴染みの顔に看取られて』 ～Sさんの人生会議を考える～

神石高原町ACP普及委員（もし話普及隊）

高橋 文子



## 事例の対象者

Sさん 96歳 女性



グループホーム入居中

病名：認知症・高血圧症・甲状腺機能低下症

介護度：要介護2 認知症自立度IIA

同居家族：長男夫婦（ご主人は20年前に亡くなられている）

人となり：元教員・晩年は自宅で野菜作り

小柄で穏やか・上品で丁寧な言葉遣い

食が細く、きゃしゃな体格

## 経緯

へき地診療所とは75歳頃からの付き合い  
いつも息子の付き添いで通院



92歳の時、認知症の症状が進行し、グループホーム入居

短期記憶は難しいが、声かけや見守りで生活ができ、顔なじみ  
と方とともに元気に過ごす

94歳の春、ある朝Sさんの体調に変化が・・・

## 突然くる 看取りの選択

朝から、ぼーっとした表情、発語が不明瞭

職員⇒家族へ連絡

日曜日だったので、町立病院を受診し検査⇒異常なし

年齢、体力、気力等から『老衰』と判断

今後の治療方針、看取る場所について検討

本人の意向確認は直接聞いていないが

**「ここはええところよ。友達もおる。歌を歌ったり、ゲームも面白い。  
寂しくないよ。職員さんも優しいし」**

家族は、本人のこの言葉を意向と捉え、施設看取りを選択



## ACP（人生会議）

### 『施設看取りに向けて』



#### 家族の意向

- 積極的な治療で本人にこれ以上負担をかけたくない
- 慣れ親しんだ場所（グループホーム）で過ごす方が  
良いのではないか

#### 【施設の不安】

- ①死亡確認はどうするか？
- ②苦痛への対処は？
- ③食べられなくなったときは？



#### 【医療の支援】

- ①へき地診療所と町立病院で対応
- ②③医師から看取り期の説明

◎へき地診療所・町立病院が共同で支援

夜間の支援も含めて施設と医療で「看取りチーム連携」

# 看取りケア

※コロナ禍

施設は看取り期における毎日の面会の受け入れ  
写真撮影・散髪、生活環境の整備等・・・

ほとんど食事がとれず、少量の水分程度  
好物の甘酒を2～3口・・・美味しそうな表情

そんな日々が10日程過ぎたある朝・・・  
目も開けず、呼びかけにも反応がなく、荒い呼吸

長男夫婦はすぐに駆けつけ、本人のそばに  
孫は諸事情で入院中だったため、ビデオ電話で声かけ  
**「おばあちゃん頑張っとるなあ。私も頑張っとるよ」**



## 最期を見守る

長男夫婦、施設職員、病院看護師がそばに付き添い  
手を握りながら本人の若い頃の話をし、ゆったりと時間が経過  
部屋の外では、他の入居者がいつものように歌を歌っている声が聞こえてくる

家族「**こんな感じ、ええなあ**」



そんな雰囲気の中で過ごした夕方、穏やかな表情で息を引きたる  
「**眠っているよう**」「**穏やかな顔じゃなあ**」「**お疲れさま**」

職員と家族で、お気に入りの着物を着せて旅立つ

**他の入居者「待ってってえなあ、私もそのうち行くからなあ**」

# 施設看取りの 振り返り

## 家族

「看護師がそばにいてくれて、死が怖いと感じなかった」

「いつも見てくれている職員、看護師に最期まで見てもらって  
本人も満足していると思う」

「冷たい嫁と思われるかもしれないが、不思議なことに、ちっとも  
寂しくないんです。清々しい気持ちさえします」

## 施設職員

「不安に対し、看護師から適切な指示、助言を  
もらって安心して看ることができた」

「施設でも看取りができると自信がついた」





# ACPの振り返り

このケースにおけるACP（人生会議）・・・

本人の意向は確認できていないが

日頃の言動から感じとった本人の意向

ACPで大切なこと

「**人生をどう豊かに送れたか**」

今回の看取りの振り返りから思うこと

ACPは、本人の意向がすべて・・・ではない

「**よりよく看取る、よりよく送る**」の達成が  
よい最期だったという満足度の評価につながる



本人の人となり  
家族のかかわり

看取る  
看取られるで  
大切なこと

看取る家族の不安は大きい

何もできないのか？ 苦しいんじゃないか？ 生きていてほしい  
いなくなると寂しい、つらい 周囲はなんて言うだろう

《看取りを評価する立場》  
さまざまな葛藤、感情  
後悔したくない

本人の思いはどうだっただろう？

本人らしい人生の終え方ってどんなだろう？

どんな最期にしてあげることができるんだろうか・・・



# 人生会議の意義

- ①本人の希望の尊重、苦痛の緩和
- ②家族の支援
- ③本人、家族の生活面を支援
- ④家族が受け止める「人生観」



繰り返し確認しながら

みんなで「心づもり」をしていくことが大切

それが**ACP（人生会議）**です。

年に一度くらい  
「もしもの話」を  
してみませんか？